

Ⅱ サザンクロス探検隊～宝物をさがせ！～ 中学生以上・1時間30分

各自が持つ情報をグループ内でそれぞれ出し合い、探検ルートを記した一枚の地図を作り上げる協力ゲームです。

1 ねらい

グループで課題を達成していく過程で、以下のことに気づくことがねらいです。

- (1) 言語によるコミュニケーション（「伝える（話す）」「聴く」「質問する」）の方法及びその難しさ、大切さ
- (2) グループにおける自分や他のメンバーの役割
- (3) グループで課題を達成する上での協力することの大切さ

2 対象及び人数

- (1) 中学生以上
- (2) 1グループ5～7人
いくつかのグループが同じ場所で同時に実施することができます。

3 準備するもの

- (1) 指示書 1人1枚＜P20参照＞
- (2) 情報カード（1セット24枚） 1グループ1セット＜P21～23参照＞
- (3) 筆記用具
- (4) 模造紙、水性マジックセット 1グループ1セット
※発表も含んだ実習にする場合、筆記用具、下書き用のA3用紙を配布するとよい。
- (5) ふりかえり用紙 1人1枚＜P86～88参照＞
- (6) グループ発表用記録用紙（A4用紙・裏紙でも可） 1グループ1枚
- (7) 課題の正解図（地図） 1グループ1枚＜P24参照＞

4 時間 1時間30分

- (1) 導入 8分
- (2) 実習（ゲーム） 45分
- (3) 正解発表 2分
- (4) ふりかえり 25分
- (5) まとめ 10分

5 課題 ＜P20参照＞

カード（24枚）の情報をもとに、探検隊の仲間が探検したテンジン諸島の島々の位置と、探検ルートを1枚の地図に作り上げます。

6 ルール ＜P20参照＞

- (1) 地図にできる情報は、すべて地図に書き、ルートも書き入れてください。
- (2) 各自が持っている情報は、口頭で伝えてください。他の人の情報カードを見たり、他の人に見せたり、渡したりしないでください。
- (3) 情報をそのまま、紙に書き写したり、一覧表にしてはいけません。

7 進め方

手 順	留 意 点
<p>(1) 導入 (8分)</p> <p>① 実習名、ねらいを提示し、問題解決の実習をすることを説明する。</p> <p>② 課題とルール、情報カードなどの準備するもの(1)~(4)を、グループに1セットずつ配布する。</p> <p>③ 情報カードの枚数(24枚)を確認するように指示する。</p> <p>④ 課題とルールを読み上げる。</p> <p>⑤ 以下の留意点を説明し、必要があればヒントを付け加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図に表しにくい情報や紛らわしい情報もあるが、嘘の情報はないことを伝える。 ・地図に表すことができる情報は、すべて地図として書き出すこと。 ・制限時間(40分)が経過したところでできていなくても実習は終了する。 <p>※ヒント(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図を作ること」と「探検隊のルートを見つけること」の2つの作業が含まれているので、うまく整理すること。 ・「アンパン」と言えば丸を思い浮かべてしまうが、そういう先入観で決めつけないこと。 ・コミュニケーションの実習なので、情報を「聞くこと」と「伝えること」に気を配りながら進めるように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示があるまで、配布したり、始めたりしないように注意する。 ・清書用の模造紙をはじめから配布せず、下書きができたグループから配布する方法もある。 ・ルールの確認を徹底する。 ・ヒントは対象に応じて省いてもよい。
<p>(2) 実習の実施 (45分)</p> <p>① 情報カードを人数に応じて均等に配布するよう指示する。</p> <p>② 情報カードがいき渡ったら、各自のカードを確認させる。読めない字、意味の判らない表現などがあれば質問を受ける。</p> <p>③ 開始を告げ、時間を計る。(45分間)</p> <p>④ 終了時間の10分くらい前になったら、作図を促す。</p> <p>⑤ 所定の時間がきたら、終了する。</p> <p>⑥ 情報カードの枚数を確認し返却する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人数によっては、全員が同じ枚数になるとは限らない。 ・表現や字などの言葉についての質問のみ、答える。 ・時間の配分は板書しておくとうよい。 ・実習中は、その様子を観察したり、うまくいかないグループを励ましたりするとよい。

<p>(3) 各グループの結果発表と正解発表 (2分)</p> <p>正解を書いた地図を掲示し、説明を加えながら、正解を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間どおりに終了せず、完成させることで、達成感を与えることをねらう方法もある。 ・時間に余裕があれば模造紙に作成した清書を掲示し、各グループごとに発表する方法もある。
<p>(4) ふりかえり (25分)</p> <p>P85参照</p>	
<p>(5) まとめ (5分)</p> <p>「話す」「聴く」「協力する」という観点で発表で出たふりかえりをもとに話をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表で出てきていないことがあれば補足する。

8 ふりかえり

- (1) 個人記入
 - ふりかえり用紙に個人で記入してもらおう。具体的にはどんなことに気づいたかも記入してもらおう。
- (2) グループ共有
 - ア 司会・記録・発表者を決めてもらう。
 - イ ふりかえり用紙の質問項目1～5について順番にグループ内で発表する。
- (3) 発表
 - 主に「コミュニケーション」「グループへの貢献」「グループ内で起きていること」の観点について発表してもらおう。

9 まとめ

各グループの実習の様子や発表をふりかえりながらまとめます。ファシリテーターは実際にあったことなど実習中の具体例を交えて話すとよいでしょう。

まとめにあたっての観点(例)として次の項目があげられます。

- (1) 伝える
 - ア 責任を持って、他のメンバーに正確に情報を伝えることができたか。
 - イ 他のメンバーが求めている情報をタイミング良く伝えられたか。
- (2) 聴く
 - ア 他のメンバーの情報をしっかり聴くことができたか。
 - イ そのとき何についての情報が話題になっているか常に把握していたか。
- (3) 質問する
 - 分からないことや確認したい情報があるときに適確に質問できたか。
- (4) グループへの貢献
 - ア 前向きに参加し、協力できたか。
 - イ 発言や質問がグループのやる気を引き出しグループに貢献できたか。
- (5) グループ内で起きていること
 - メンバー(自分も含む)の役割や動きについて気づいた点はあったか。

<指示書>

サザンクロス探検隊 ～ 宝物をさがせ！～

課題とルール

【課題】

私たちは、サザンクロス探検隊の隊員です。

ある日、私たちの仲間から「南の島で宝物を見つけたが、重くて運べないので、応援を頼む」という連絡が入りました。さっそく、応援に向かおうとしたところ、連絡がとだえ、かれらがテンジン諸島にいるということしかわかりません。いろいろと手をつくして、かれらの情報を集めたのですが、バラバラです。そこで、みんなの情報を出しあって、仲間が探検したテンジン諸島の島々の位置と探検ルートを、一枚の地図に作り上げてください。制限時間は45分です。

【ルール】

- 1 地図にできる情報は、すべて地図に書き、ルートも書き入れてください。
- 2 各自が持っている情報は、口頭で伝えてください。他の人の情報カードを見たり、他の人に見せたり、渡したりしないでください。
- 3 情報をそのまま、紙に書き写したり、一覧表にしてはいけません。

<p>アンパン島は、テンジン諸島で一番大きな島で、東西に長い長方形の島である</p> <p style="text-align: right;">1</p>	<p>出発点マーレから、船で東回り（時計回り）に南にむかい、ついた町はモーレアであった</p> <p style="text-align: right;">2</p>
<p>テンジン諸島は4つの島からなりたっているが、東と西から見ると、それぞれ2つの島の影しかみえない</p> <p style="text-align: right;">3</p>	<p>モーレアからヌーメアへは、湖のほとりをとおって、歩いて進んだ</p> <p style="text-align: right;">4</p>
<p>大きいほうの円形の島には、テンジン諸島ただ一つの湖、カッ湖がある</p> <p style="text-align: right;">5</p>	<p>ヌーメアから、船でヌクアロハをめざしたが、潮流で北に流され、オットツ島の北側の町へ着いてしまった</p> <p style="text-align: right;">6</p>
<p>宝物は、オットツ島の東のとなりの島の山頂にあるという</p> <p style="text-align: right;">7</p>	<p>ナンディからは、ボラボラ山のある島がよく見え、その島のさらに向こうには、キンカ島が見える</p> <p style="text-align: right;">8</p>
<p>マーレは、長方形の島の北側まん中に位置する町である</p> <p style="text-align: right;">9</p>	<p>スバまでは、オットツ島の西側の海岸線にそって歩いた</p> <p style="text-align: right;">10</p>

<p>アンパン島の西側には、テンジン諸島で2番目に高い山がある</p> <p style="text-align: right;">11</p>	<p>島の南の町、スバからは、船にのってようやくヌクアロハのある隣の島に到着した</p> <p style="text-align: right;">12</p>
<p>テンジン諸島で、一番高い山はボラボラ山で、2番目に高い山はブラブラ山である</p> <p style="text-align: right;">13</p>	<p>ヌクアロハから登ったボラボラ山の頂上に宝物はあり、探検隊もそこにいるらしい</p> <p style="text-align: right;">14</p>
<p>オットツ島は、キンカ島の西にあり、東側が欠けた、三日月のような形をしている</p> <p style="text-align: right;">15</p>	<p>テンジン諸島の中の3つの島は、一列に並んでいるので、東と西から見ると一つの島影しか見えない</p> <p style="text-align: right;">16</p>
<p>アラヨツ島の東にキンカ島があり、北にアンパン島がある</p> <p style="text-align: right;">17</p>	<p>カッ湖の北側には、恐ろしい人食いワニが住んでいるので、そこを通ることはできない</p> <p style="text-align: right;">18</p>
<p>円形の島は2つ並んでおり、小さいほうの島の南の端には、その島でただ1つの町、ヌクアロハがある</p> <p style="text-align: right;">19</p>	<p>キンカ島から、となりのアラヨツ島をめざしたのだが、潮の流れで北上し、オットツ島へ着いてしまった</p> <p style="text-align: right;">20</p>

キンカ島には、2つの町があり、東の端の町はモーレアといい、西の端の町はヌーメアという

21

北から見ると、テンジン諸島の島はアンパン島しか見えない。他の島は、アンパン島の影に隠れている

22

三日月型の島には、北と南の端に、2つの町があるという。町の名は、ナンディとスバだという

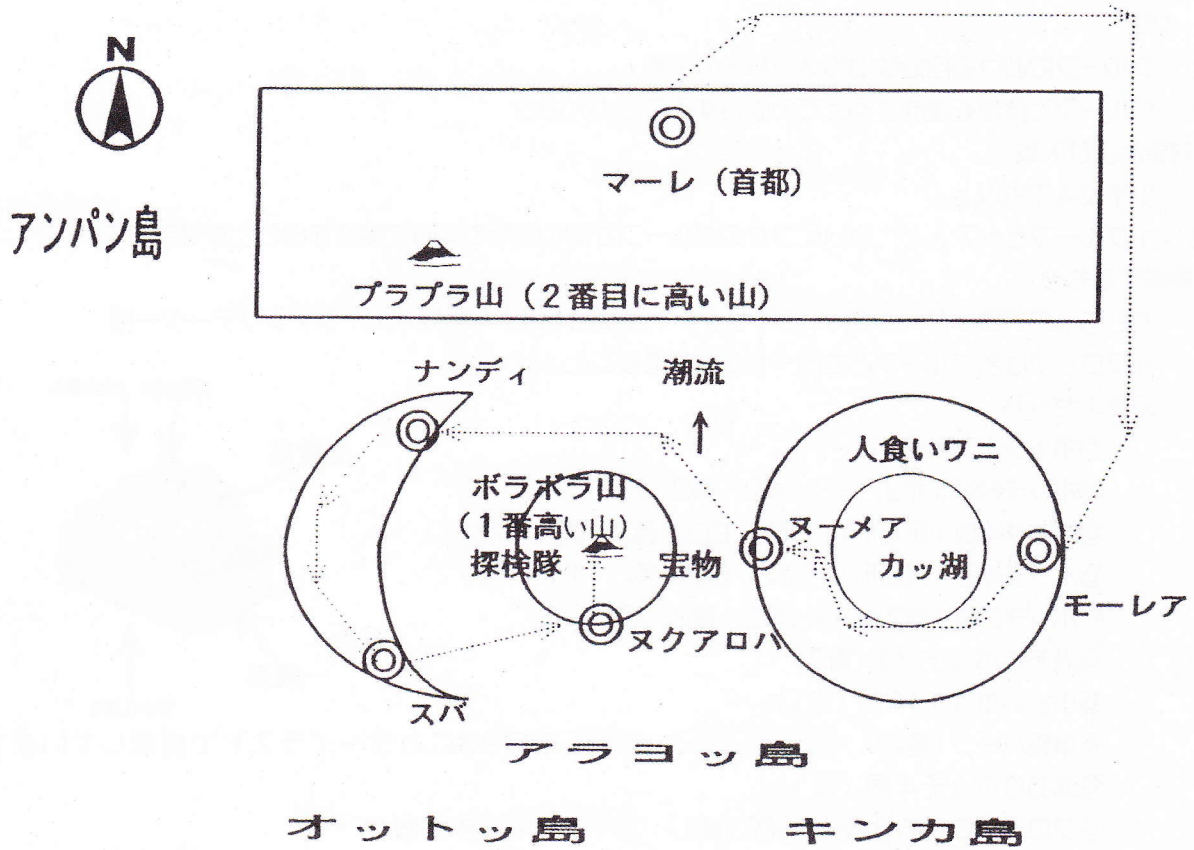
23

テンジン諸島には、上空から見るとドーナツそっくりの島があり、その島の名物は子ブタの丸焼きらしい

い

24

サザンクロス探検隊～宝物をさがせ！～ 課題の解答 (正解図)



Ⅱ サザンクロス
探検隊

〈ここで使われている地名等は一部は創作ですが、実在する都市名も借用しています。〉

*実在する地名について

- ・マーレ モルジブ共和国の首都
- ・モーレア タヒチの首都
- ・ヌーメア ニューカレドニアの首都
- ・ヌクアロハ トンガ王国の首都
- ・ナンディ フィジーの都市
- ・スバ フィジーの首都

(・ボラボラ タヒチの島の一つにボラボラ島というのがある。)